

2024年度 事業報告

2024年4月1日-2025年3月31日

1.概要

設立から2年度目である2024年度は、長年の雅楽界の課題である筆簞用ヨシの保全について、国土交通大臣への要望書の提出や、ヨシが採取される高槻市での雅楽公演や講座の実施、各省庁や地方自治体等との連携等、多方面からの取り組みを行い、永続的なヨシ確保の仕組みづくりをスピード感を持って進めた。このほか、初年度に引き続き本協会の組織運営に必要な環境整備を行い、また、雅楽を広く一般へ伝える事業を複数実施し、雅楽の普及を図った。

2.事業報告

1)雅楽の維持・振興を図るための事業

筆簞用ヨシ保全事業

大阪府高槻市の淀川右岸のヨシ原(一般に「鶴殿のヨシ原」と呼ばれるエリア)に自生する筆簞に使用するヨシを継続的に確保するための仕組みづくりを行った。

前年度より、筆簞用ヨシの確保について国会議員への陳情を行い、2024年4月3日に本協会より斎藤鉄夫国土交通大臣(当時)へ、継続的なヨシの確保のための要望書を手交した。要望書の提出により、同年5月から雅楽協会と国土交通省淀川河川事務所との話し合いが開始され、7月には国土交通省と文化庁との連携が図られた。8月より雅楽協会は文化庁と継続的に話し合いを行い、さらに9月に高槻市で実施された『宮中の雅～宮内庁式部職楽部「雅楽」特別公演』公演を機に、雅楽協会と高槻市によるヨシ保全についての協力体制が築かれた。以降雅楽協会・高槻市・文化庁・国土交通省・地域団体が連携しながら、ヨシを確保するためのスキーム構築が順調に進められている。

2)雅楽の普及を図るための事業

①宮中の雅～宮内庁式部職楽部「雅楽」特別公演

筆簞用ヨシが採取される高槻市において、市民の雅楽への理解を深め、筆簞用ヨシ保全の機運を醸成することを目的とし、また、雅楽に携わる者の教養・技芸向上に資する事業として公演を行った。

実施日:2024年9月28日(土)

会場:高槻城公園芸術文化劇場 南館 トリシマホール

主催:高槻市

共催:公益財団法人高槻市文化スポーツ振興事業団

協力:宮内庁式部職楽部、一般社団法人雅楽協会

企画・制作:一般社団法人雅楽協会

出演:宮内庁式部職楽部

来場者数 1,417

②高槻市で育った葦で吹こう! 雅楽ワークショップ

高槻市民が雅楽に触れる機会を創出するため、こどもを対象としたワークショップを実施した。

実施日:2024年9月28日(土)

会場:高槻城公園芸術文化劇場 南館 中スタジオ2

主催:一般社団法人雅楽協会

プログラム監修・講師:佐藤浩司

出演:[羯鼓]豊英秋 [笙]林絹衣(天王寺楽所雅亮会) [筆簞]稲川昌実(平安雅楽会) [龍笛]吉田洋明(大阪楽所)

(天理大学雅楽部関係者)川口喜一郎 矢田美歩 中尾博道 梅田真史 赤阪祐哉 須田実 井上靖也

参加者数 19

③「宮中の雅」公演プレ講座

『宮中の雅～宮内庁式部職楽部「雅楽」特別公演』に先駆けて講座を開催した。

実施日:2024年9月28日(土)

会場:高槻城公園芸術文化劇場 南館 中スタジオ2

主催:一般社団法人雅楽協会

講師:豊英秋 ナビゲーター:小野真龍

参加者数 39

④大人のための伝統文化・芸能体験事業 2024年度 第2回 雅楽

さまざまな伝統文化・芸能の魅力にふれることができる「大人のための伝統文化・芸能体験事業」に協力した。

実施日:2024年11月30日(土)

会場:玉川区民会館 玉川せせらぎホール

主催団体:東京都、(公財)東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、(公社)日本芸能実演家団体協議会[芸団協]

共催:世田谷区

広報協力:TOKYO FM

出演・講師:

・トーク 小野真龍 住吉美紀

・体験 管絃メイン講師:瀬瀬拓也 舞楽メイン講師:三浦元則

・鑑賞

演目:<管絃> 平調調子 越殿楽 <舞楽> 右方 抜頭

演奏:中村香奈子 三浦元則 伊崎善之 國本淑恵 瀬瀬拓也 東田はる奈 岩崎達也 柏木理 南菜央美
青木総喜 *サポート:後藤宣裕 阿部三世子

・MC 住吉美紀

参加者数 90

⑤東海道かわさき宿交流館「江戸時代の粋に遊ぶ その61」雅楽

伝統芸能の実演・体験と対談によって芸能を掘り下げる「江戸時代の粋に遊ぶ」に企画協力し、雅楽装束の衣紋(着付)を取り上げるプログラムを実施した。

実施日:1月18日(土)

会場:東海道かわさき宿交流館

主催:東海道かわさき宿交流館

協力:(公社)日本芸能実演家団体協議会[芸団協]

出演・講師

・衣紋 高橋忠彦(特別協力)

・演奏 野津輝男 高多样司 瀬瀬拓也

・解説・進行 ジャパノロジー・ミュージアム代表 山縣基与志

参加者数 82

⑥神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2024

神楽坂のまち全体を舞台にした伝統芸能フェスティバルに企画協力した。

○神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2024実施日:2024年5月18日(土)・19日(日)

開催場所:神楽坂エリア(毘沙門天善國寺 赤城神社 矢来能楽堂 白銀公園 神楽坂通りエリア内路上 歴史的な名所旧跡 ほか)

主催:公益財団法人東京都歴史文化財団アーツカウンシル東京 NPO法人粋なまちづくり倶楽部

○神楽坂芸能めぐり 街角ライブ(雅楽協会協力)

実施日:5月19日(日)

出演:雅楽バサラ(島田皓史 大谷忠平 岡久美子)

3)広報

①会報誌「雅楽フォーラム」の発行

主に会員へ向けて、本協会の諸活動や雅楽に関わる情報、本協会会員の活動を伝える会報誌「雅楽フォーラム」を、紙媒体及びデジタル媒体で発行・配布した。

vol.2 2024年7月発行

vol.3 2024年11月発行

vol.4 2025年3月発行

②ニュースレターの配信

会員やその他関係者等に、本協会の諸活動や雅楽に関わる情報等を伝えるニュースレターをメールで配信した。(月1回 計12回配信)

③webサイト・SNS

本協会のwebサイトを運営し、またSNSを用い、本協会の活動を伝えるための広報を行った。

4)その他

①定款に付随する諸規定の整備を行った。

②渉外活動業務

取材依頼等への対応を行った。

2024年4月 東京新聞 雅楽の継承へ一丸「官民連携」で協会設立 筆簞の材料ピンチ、ヨシ原保全などに尽力

2024年4月 公明新聞 雅楽楽器に必要なヨシの確保で要望／斉藤国交相に協会

2024年5月 朝日新聞朝刊(全国版) (リレーおびにおん) 集まれば:4 宮内庁×民間、千年の調べ次代へ

2024年5月 朝日新聞デジタル 宮内庁と民間、立場を超えて「雅楽協会」発足 今なぜ？

2025年5月 神社新報 雅楽の普及・発展に向け 雅楽協会が設立記念行事

③公益社団法人日本芸能実演家団体協議会[芸団協]に加盟した。(2024年12月)

④芸団協「芸能実演家・スタッフの活動と生活実態調査」に協力した。(2025年3月)

3.処務概要

1)会員に関する事項

2025年3月31日現在における会員数

運営会員 146名

一般会員 155名

サポート会員(団体) 18団体

サポート会員(個人) 28名

2)役員会等会議に関する事項

①総会

第2回定時総会(2024年6月26日)

②理事会

2024年度第1回理事会(2024年5月15日)

2024年度第2回理事会(2024年8月28日)

2024年度第3回理事会(2024年12月11日)

2024年度第4回理事会(2024年3月12日)

③臨時理事会

2024年度第1回臨時理事会(2024年6月6日)

2024年度第2回臨時理事会(2024年11月7日)

以上